

産業振興会議の設立にあたり

半田市長 久世孝宏

事業者の元気でまちを元気にするために、産業振興会議を立ち上げます。

これからのまちづくりには、行政と共にまちを元気にするパートナーとして、事業者の方の力が必要です。そのためには、まずは事業者のみなさまが元気でなければならないと、強く感じています。事業者のみなさまの元気を創る施策を考え、その元気をまちの元気に繋げていく、そんな会議にしていきたいです。

以下、私がなぜ、事業者を元気にする産業振興政策に力を入れると決めたのか、その背景と想いを申し上げます。

～事業者が元気であれば、雇用を守り、市民の生活を守ることができる～

コロナ禍により、従来通りの活動が行えなくなり、経済・産業分野でも、多くの事業者が傷つき、深刻な痛手をうけました。コロナ禍により環境が激変し、事業者、そして、今日の生活にも困っている市民の方をどのように支援するか考えていたあの時、強く感じたことが、「雇用が維持されていれば、市民の生活を守ることができる」ということでした。だから、雇用を守っていただくために、事業者のみなさまが元気でなければならない、と考えています。

～働くことは市民の生活の一部。だからこそ働く場である事業者のみなさまのご理解が必要～

「働く」ことは市民のみなさまの人生・生活に大きな影響を及ぼしています。故に、市民生活に深く関わるまちづくりには、働く場を提供いただく事業者のみなさまのご協力は不可欠であると考えます。例えば、子育て支援、介護支援、女性の活躍など、市民のみなさまの生活や人生に関わる社会課題の解決は、行政サービスだけで実現するのは困難で、事業者のみなさまにも、行政と同じ想いを持っていただければ、大きな新しい力を生むことができます。そのためにも、事業者のみなさまが元気であって、半田市と想いを共有できる環境を作る必要があると考えています。

～市民生活と密接な関係があるから、基礎自治体である半田市も経済・産業振興政策に関わる～

これまで多くの基礎自治体は、経済対策、産業振興は、国がやるべきこと、との考えでした。産業や労働政策は、企業の活動が単一自治体で収まることなく、また振興策は大きな金額が必要になる場合が多いことが、この考えに至る大きな理由と捉えています。しかし、市民のみなさまの生活に密接に関係があるからこそ、市民に一番近い基礎自治体も関与すべきであると私は考えます。半田市でも、まちを元気にする産業振興のために、やれることは必ずあるはずで。

～民間と、行政と一緒に～

この会議は、行政が主導するものではありません。事業者のみなさまと半田市が、それぞれの得意分野や特長を生かし、互いの英知を結集する会議にしたいと思います。そして、力を合わせて半田市を発展させるとの目的のもと、この会議で生まれた施策は、私が責任を持って実現をする覚悟であります。想いを込めた施策が生まれ、効果が最大限発揮されるようご協力をよろしく申し上げます。